No.400

しゃっちょうは行く！



メディセレスクール ファウンダー
児島 恵美子

Broaden your horizons ～さぁ、視野を広げて！～

薬局の新たな役割

何を着たらよいのか迷う季節。お出かけの際は、ぜひ羽織れるものをお持ちください。

先日、「次世代の薬剤師を創る会」にて、サンキュードラッグの平野健二社長にご講演いただきました。平野社長はテレビ番組「カンブリア宮殿」でも紹介され、北九州市で74店舗を展開されています。同市では135小学校区のうち40校区が無店舗（無医地域）という課題を抱えており、同社は地域に根差した薬局展開を実践されています。参加者からの「大阪への出店予定は？」という質問に「ないです」と明快に答えられる姿に、戦略のブレのなさを実感しました。

また、義務的医療ではなく「プライマリ・ケア」を重視するという、30年後を見据えたバックキャスト（逆算）のお話も印象的でした。私も薬剤師として「薬を減らし、できるだけ薬に頼らない状態」を目指しているため、深く共感しました。

そして今回の講演で最も印象に残ったのは、「薬剤師が関わることで行動変容につながるか」という視点です。人は理解していても、実際に行動を変えるところまではなかなか至りません。そこにどう関わるかが重要なのだとあらためて感じました。これは勉強にも通じます。学生が勉強を習慣化するためには、どのような働きかけが必要なのか――。講演を聴きながら、そんなことも考えました。まずは自分自身の行動から見直していきたいと思います。